

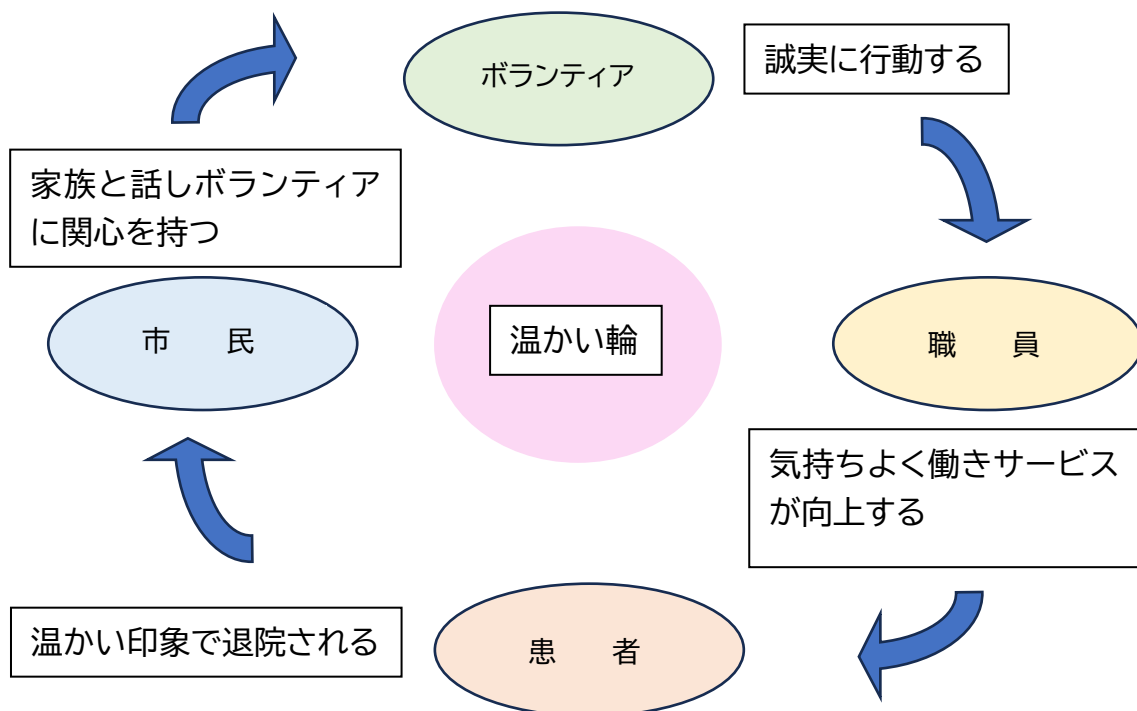
ことばの循環

～職員の方・患者さんと接して利他の心(※1)を学びたい～

① 経緯

昨年度高校三年生による企画で、病棟にあがって患者さんたちと交流する「まちクラブ」が成功し、現在も院内で活動を継続することが出来ている。今年度も新高校三年生のみんなで話し合い、新しい企画を進めている。病院内で印象に残ったあたたかい言葉を集め、みんなで共有することで病院内の雰囲気をよりよいものにしたいとみんなで決めた。職員の方、患者さん、ボランティアの中で温かい気持ちを増やしていこうという企画である。

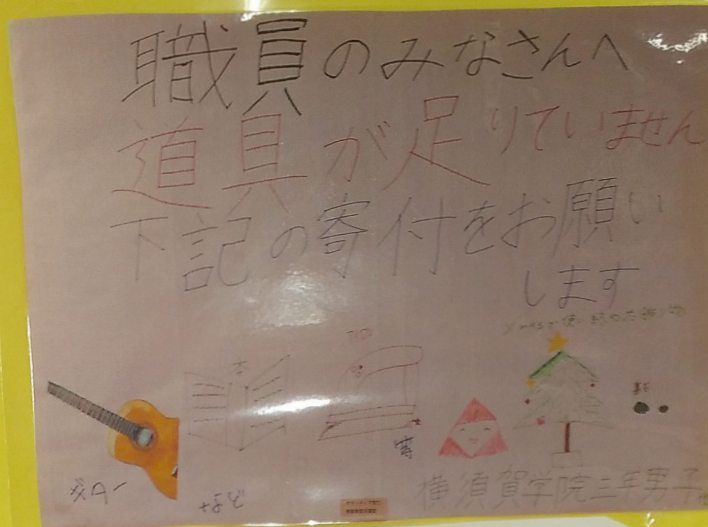
② 循環のイメージ図



③ 解説

心のふれあいを大事に寄り添い会う企画として、院内にて交流活動を行う。その為には、私たちボランティア高校3年生が不平、不満、陰口を言うような人間性では対応させて頂く相手の方に良い反応をしてもらえないと考えた。そこで、目標を決め、学校や所属する部活等は違っても、同級生は同じ感覚でボランティア活動に臨もうと決めた。今後、私達の立ち居振る舞いを改善し、社会に貢献したい。

ボランティアと職員の温かいつながり



職員の皆さんに、ボランティアで使用する物品の寄付をお願いしました

寄付をしていたいた
職員の方へ

いたいたクリスマスオーナメントは
今年のクリスマスの時に使いたいと
思います！
御心遣い、誠にありがとうございます！
ございました！



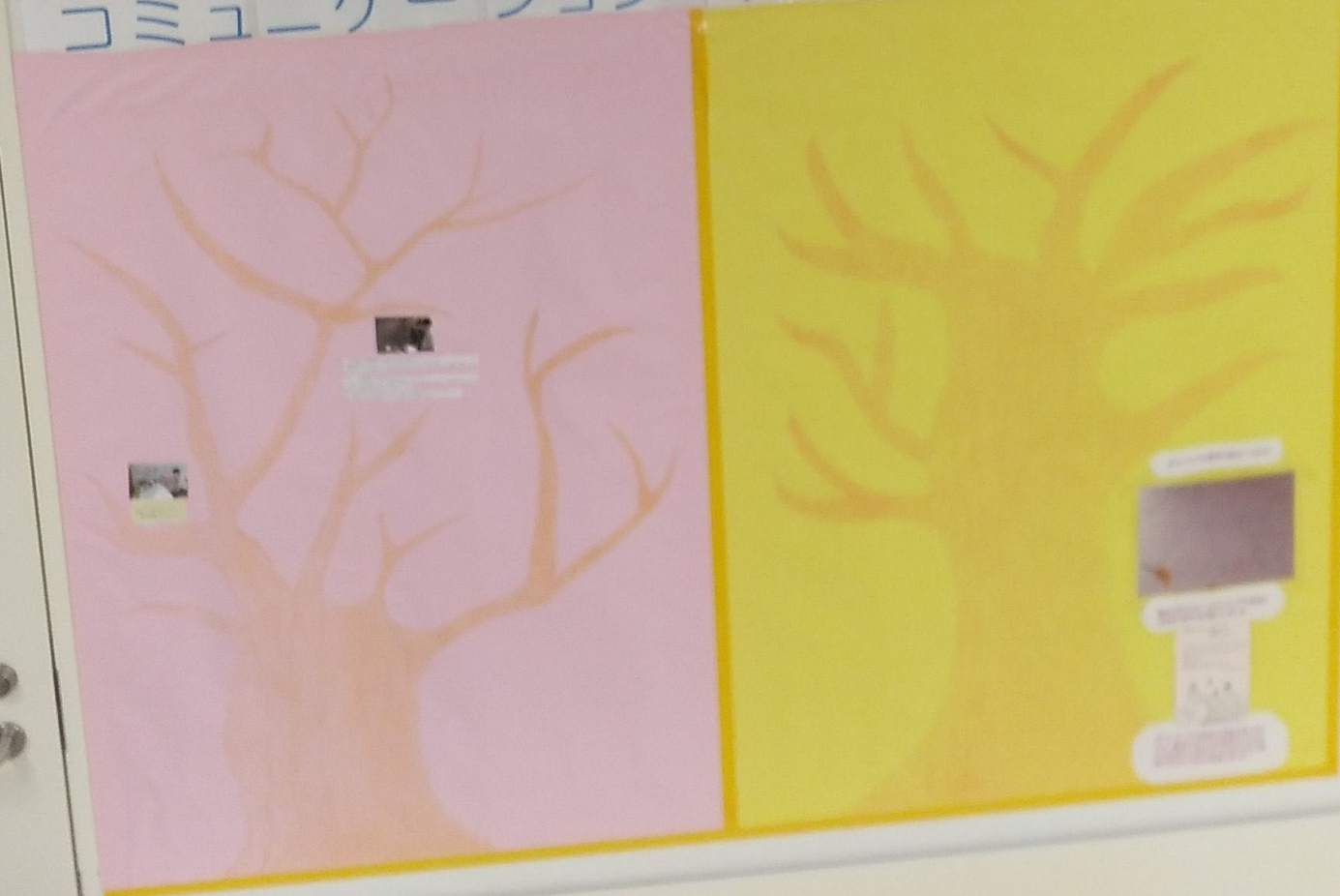
高校生ボランティアの皆さんへ
貴重な時間を割いて活動してくださ
りて頂いてありがとうございます！
来年のクリスマスには、ぜひとも
おのれを飾ってください！
高校生ボランティアより

ボランティア窓口
患者家族支援室

ボランティアで感謝の手紙を書いたと
ころ、職員の方からお返事をいただき、
とても温かい気持ちになるとともに職
員の方とのつながりを感じました！

2025 年度高校 3 年生による企画
ことばの循環
～院内の交流～

「桜と楓の花を咲かせよう！」
コミュニケーション アクティビティ



③食堂に掲示した「ことばの木」

④「温かい輪」のサンプルと始まり

ボランティアの道具が不足していたので、ある時寄付を募ると、職員より装飾品が提供された。そのお礼の手紙を作成し渡すと、更に「貴重な時間をありがとう」等、激励の言葉を返してくれた。そのやり取りがきっかけでこの企画は発案された。

※1)利他の心……自分の利益だけを考えるのではなく、自己犠牲を払ってでも相手に尽くそうとする気持ち。

2025年4月17日

聖ヨゼフ病院高校3年生ボランティア一同より

『 2025年度 高校3年生ボランティアの宣言 』

一、私たちは、誠実な活動をします。

一、私たちは、真・善・美の心で接します。

一、私たちは、患者・職員に真摯に向き合います。